平成19年度

福井県立武生高等学校

同窓会総会

日 時　平成19年5月26日㈯ 午後2時
（総会・特別企画　パーティー・懇親会）

場 所　武生パレスホテル 平安の間

沿　　革

（旧制　県立武生中学校）

明治31年３月１日　福井県武生尋常中学校を創設
明治34年６月12日　福井県立武生中学校と改称

（旧制　県立武生高等女学校）

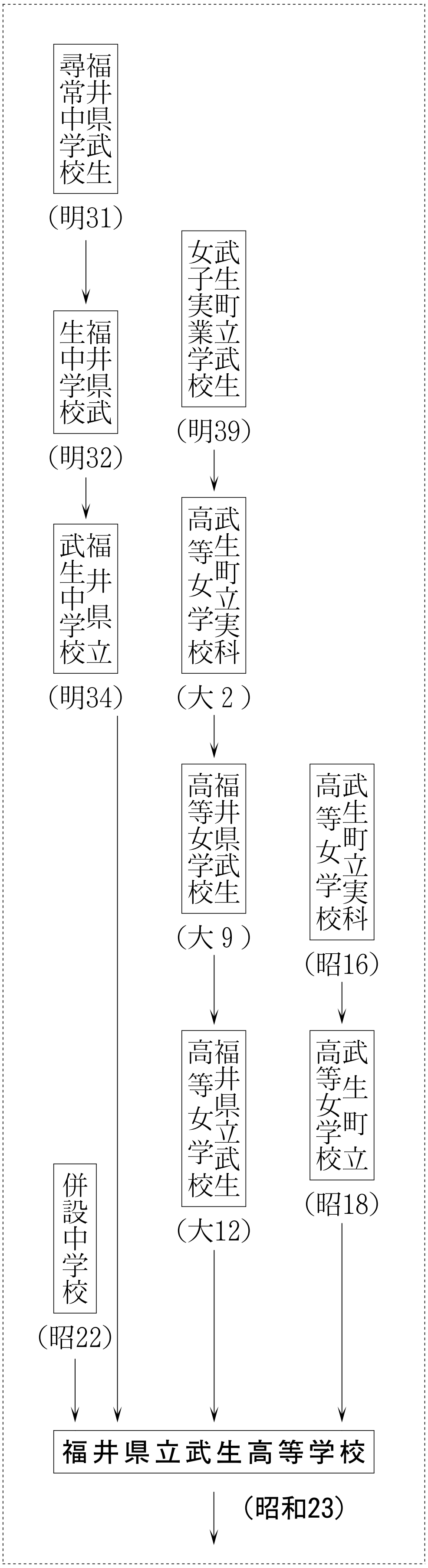
明治39年６月９日　武生町立武生女子実業学校創設
大正２年２月27日　武生町立実科高等女学校と改称
大正９年３月10日　福井県武生高等女学校と改称
大正12年４月１日　福井県立武生高等女学校と改称

（旧制　町立武生高等女学校）

昭和16年４月21日　武生町立実科高等女学校認可
昭和18年４月１日　福井県武生町立高等女学校と改称

（福井県立武生高等学校）

昭和23年４月１日　学制改革により福井県立武生中学校、福井県立武生高等女学校、福井県武生町立高等女学校を統合し、福井県立武生高等学校に改組し、普通・家庭・商業・工業の４課程を設定
定時制（本校・池田分校・今庄分校および粟田部分校）を併設
昭和30年４月１日　新校舎第１期工事完成、現在地に移転
昭和34年４月１日　工業課程は武生工業高等学校として分離独立
昭和35年11月１日　新校舎工事完成、落成式挙行
昭和38年５月８日　プール開き挙行
昭和40年４月１日　武生商業高等学校新設に伴い商業科募集停止
昭和40年４月１日　定時制池田分校は全日制池田分校となる
昭和40年５月30日　第二体育館落成式挙行
昭和42年10月30日　生徒指導実験学校研究発表会を行う
昭和43年11月１日　創立70周年記念式を行う
昭和44年４月１日　理数科設置
昭和44年７月19日　創立70周年記念館落成式
昭和53年11月１日　創立80周年記念式を行う
昭和55年12月23日　普通教棟改築、鉄筋校舎完成
昭和57年11月24日　特別教棟改築、鉄筋校舎完成
昭和59年３月31日　音楽教棟完成
平成３年３月31日　本館・第１体育館リフレッシュ工事、正門並びにシンボル・ガーデン完成
平成４年１月31日　定時制教棟改築着工
平成４年10月31日　定時制教棟完成
平成５年３月20日　弓道場完成
平成５年12月27日　第２体育館リフレッシュ工事完成
平成７年４月１日　定時制課程単位制設置
平成10年11月１日　創立100周年記念式を行う
平成10年11月６日　葵講堂完成
平成12年３月31日　生徒会館(記念会館)リフレッシュ工事完成
平成15年２月10日　第１教棟耐震補強工事完成、並びに第１体育館改築着工
平成15年10月31日　第１体育館完成
平成17年１月31日　第２体育館改築着工
平成18年２月24日　第２体育館完成



武生中学校校歌

作詞　堀井　磊

一、越智(おち)の高嶺(たかね)の彼方(かなた)には
波幾千里日本海
巽(たつみ)の空に仰(あお)ぎ見る
御嶽(みたけ)の山は巍峨(ぎが)として
その秀嶺(しゅうれい)の影ひたす
日野の流れの清きかな

二、星霜(せいそう)経(ふ)りし国府(こふ)の跡
功(いさお)は高き藤垣(ふじがき)や
三つの川水治(おさ)めけむ
君味真野の宮所(みやどころ)
杣山(そまやま)松を吹く風は
忠義にはやる矢叫(やたけ)びか

三、栄(はえ)ある歴史偲(しの)びつゝ
紫明(しめい)の天地ながめつゝ
心武生の学舎(まなびや)に
知徳(ちとく)をみがく五春秋(ごしゅんじゅう)
朝日とのぼる向上(こうじょう)の
誰(たれ)百難(ひゃくなん)に屈(くっ)せむや

四、赤帝焔(せきていほのお)を息吹(いぶ)く時
熱球宙(ちゅう)を飛ぶところ
朔風(さくふう)雪をふゞく時
竹刀(ちくとう)火花の散るところ
血潮はわきて青春の
男児(だんじ)の腕(かいな)高鳴れる

五、嗚呼(ああ)東海に覇(は)を唱(との)ふ
国をになはむ任重く
母校の誉(ほまれ)世の光
かゞやかすべき南越の
健児(けんじ)はわれぞ芳(かん)ばしく
咲かむ万朶(ばんだ)の山桜

武生高等女学校校歌

御歌所寄人　鳥野幸次先生校閲
作詞　清水政之

一、男大迹の皇子のおはしけむ
ゆかりたふとき道の口
武生の国府と名に立ちて
文化の花も先づ咲きし
昔の跡に開けたる
まなびの園の名もよしや

二、忠義に燃ゆる杣山の
紅葉の色をかざしにして
越前富士に積む雪の
清きを己が心にて
日野の川波絶えずのみ
勉め励まんいざやいざ

三、后の宮の詠みましし
御歌の意かしこみて
人の中にもをみなたる
道の誠をみがきつぬ
家をも身をもととのへて
千代の鏡と仰がれむ

福井県立武生高等学校校歌

作詞　佐藤春夫
作曲　大中寅二

一、都に遠く雲閉す
日野の盆地と云ふ勿れ
山河穢れず人怜く
若人の夢みな清し

二、武生の国府とうたはれし
代々の文化のあとを見よ
史上に残る名に富むを
郷土のほまれ誰か継ぐ

三、味真野の子や丹生の子の
学びに集ふ二千人
校舎あかるく庭ひろく
朋友師弟　睦しき

四、いかにか生くと人問はば
我は明朗自律の児
まことを求め道に生き
世に尽さんと答へまし

ご　挨　拶

同窓会会長　三田村　俊　文

新緑の候、武生高等学校同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本日は、平成19年度同窓会総会のご案内を申し上げましたところ、ご多忙の中、多数の皆様のご出席を賜り開催できますことを厚く御礼申し上げます。

また、本年度の総会開催にあたりましては、実行委員長笠原章様はじめ、昭和45年卒業の方々を中心に関係各位のご尽力をいただいておりますことを深く感謝申し上げます。

さて、今年の冬は記録的な暖冬となり昨年の大雪をすっかりと忘れさせる程でしたが、去る３月の能登半島地震は隣県福井におきましても大変な恐怖を感じさせるもので、未だその悲惨さが記憶に新しいところです。18年度の同窓会事業につきましては、おかげさまで順調に運営することができ、また、各支部におかれましても、支部総会、懇談会の開催などを通じて交友を深められるとともに積極的にご活動いただいております。皆様には日頃より同窓会活動の推進にあたり格別のご支援・ご協力をいただいておりますことに対し、あらためて感謝申し上げる次第でございます。

ところで、昨年は高校の必須科目の未履修問題が大きくクローズアップされ、高校教育の根本的な見直しが求められました。大学受験のためとされる今回の未履修は、進学を目指す学校のほとんどで恒常的に行われており、残念ながら、わが武生高校も例外ではありませんでした。教育現場においてはこの事実を真摯に受け止め、本来の高校教育の目的を果たすための糧としていただきたいと存じます。

一方で、県内では、全県一区制に移行されてから初の卒業生がこの春の大学受験に挑んでおり、難関大学への合格者数などその結果が示されたところであります。ますます高校の序列化が鮮明になってきており、生徒や父兄は以前にもまして進学状況や合格者数を注視していることもまた事実であります。

こうした現実の中で、教育行政がゆとり教育から学力向上重視へと大きく方向転換している今、教育現場の舵取りは一層難しくなっており、このような時代こそ、地域の協力や私ども同窓会の果たすべき役割が重要であると思っております。県内屈指の進学校を誇るわが武生高校は、これからも県内の教育界をリードし、目指すべき高校教育の道筋を定めていかねばならないと存じております。そして、社会を先導するにふさわしい生徒の育成をお願いしたいと存じます。

同窓会といたしましても、各事業活動を通じて、母校の教育向上のためにできる限りの協力をしてまいりたいと存じますので、今後とも皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げる次第です。

最後になりましたが、母校武生高等学校の限りないご発展と、同窓会会員皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

学校長　覚田義彦

暖冬といわれながら寒の戻りのせいか、春の温もりがなかなか実感できなかった桜の季節も過ぎ去り、いつの間にか新緑の季節を迎える頃となりました。

本日、平成19年度武生高等学校同窓会総会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。日頃は三田村俊文会長をはじめ、役員・理事の方々、さらには同窓会の会員の皆様には、本校の教育推進に対し格別のご支援、ご協力を賜っておりますこと、深く感謝申し上げます。

戦後60年が経過し、教育制度や学校の在り方も大きな変革期を迎えておりますことは皆様ご承知のとおりです。その一つに少子化の中で如何に子ども達を育てていくか、ということはまさに各学校に課せられた喫緊の課題として我々の眼前に存在しています。また、ひと頃よく言われたことばに「不易と流行」というものがありましたが、何を残し、何を変えていくかが問われ続けております。

そういう中で、武生高校としては周囲の状況も把握しながら、これまでの本校に対する期待に応えるためにも、全国に通ずる進学校であり続けること、また地域や日本のリーダーたる人材を育成することを視野に入れながら舵取りをしていくことが正しい道だと考えております。換言すれば、常々申し上げておりますように、高い学力を有し、強い克己心を持ち、社会を先導するにふさわしい人材の育成をめざしてまいる所存です。

さて、これまでの公教育を見直し、今後期待されるべき姿の実現のために「教育再生」が国を挙げて大きな議論を呼んでおりますが、詰まるところは、法令遵守に徹する中で、学校がさまざまなことがらに対し透明性を上げながら説明責任を果たし、外部の方々の助言も取り入れ、成果に結びつけるということだと思います。その具体的な取り組みが「学校評価制度」という形で出てまいりました。学校が具体的な目標を掲げ、その目標達成の道筋を具体的に示しながら、年度末には自己評価を行うとともに外部評価も受けることになります。目に見える成果と見えない成果がありますが、私どもとしては両方が相互に関連しているという認識を持ち、同窓会の皆様方からはもちろん、保護者の方々や地域の方々からも「頑張っている」という評価がいただけるよう、我々の意識改革、そして行動改革に取り組んでまいります。一般社会から隔離されてきた組織でありますので、さまざまな点で皆様の目には「不十分だ」と思われることも数多くあろうかと存じますが、ご指導くださいますようお願い申し上げます。

歴史と伝統に裏打ちされた本校は、何事においても慎重に対応することが求められておりますが、変化の激しい時代には「迅速かつ柔軟な対応」はもっとも大切な要素であります。伝統とは古いものを引き継ぐだけではなく、時代に対応しながら良き新しいものを取り入れることだと考えております。良き伝統は校風に表れるものですが、校風とは目には見えないカリキュラムそのものです。このヒドゥンカリキュラムを大切にしながら、これからの時代の中で武生高等学校の歴史を一歩一歩刻んでいかねばならないと思っております。全県一学区はまさにそのスタートです。私ども教職員一同、ご期待に添える武生高等学校であり続けられるよう努力してまいりますので、皆様方の格段のご支援、ご協力を賜りたいと存じております。

最後になりましたが、本年度総会のお世話をいただきました昭和45年卒業の皆様のご尽力に対しまして心から敬意を表しますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。同窓会のますますのご発展と、会員の皆様のいっそうのご健勝、ご多幸をお祈りいたしましてごあいさつといたします。

平成19年度　武生高等学校同窓会総会日程

14:00～14:45

総　　会　（於：３階　平安の間）

1　開会のことば　　平成19年度総会実行委員長　笠　原　　章 氏

2　物故者に対する黙とう

3　同窓会会長挨拶　　三田村　俊　文 氏

4　学 校 長 挨 拶　　覚　田　義　彦 氏

5　議　　事

⑴　平成18年度事業報告について

⑵　平成18年度決算報告について

⑶　平成18年度会計監査報告について

⑷　平成19年度事業計画案審議

⑸　平成19年度予算案審議

⑹　そ　の　他

6　報　告　事　項

⑴　事務局連絡

7　閉会のことば　　平成19年度総会副実行委員長　大久保　恵　子 氏

15:00～15:45

総会特別企画　（於：３階　平安の間）

■講演　「明治維新と武生」

文殊谷　康　之　先生（昭和23年卒）

16：00～17：30

パーティー・懇親会　（於：３階　鳳凰の間）

1　開会のことば

2　実行委員長挨拶　　笠　原　　章 氏

3　同窓会長挨拶　　三田村　俊　文 氏

4　乾　　　杯

5　万　歳　三　唱

6　閉会のことば

武生高等学校同窓会
平成18年度　事　業　報　告

平成18年

４月７日（金）	第３回同窓会総会実行委員会
４月17日（月）	会計監査
４月28日（金）	第４回同窓会総会実行委員会
	第１回同窓会理事会、懇親会
５月27日（土）	同窓会総会、懇親会
８月１日（火）	松柳会総会
10月25日（水）	開校記念校内マラソン
12月８日（金）	第２回同窓会理事会、懇親会

平成19年

２月16日（金）	「先輩と語ろう会」
３月２日（金）	分校・定時制卒業式、同窓会入会式
３月23日（金）	本校卒業式、同窓会入会式

各　支　部	石川県支部総会	10月14日（土）
	関東支部総会	10月21日（土）

平成18年度「先輩と語ろう会」

武生高校では、生徒一人一人が自分の人生の生き方を模索し、将来について主体的かつ自主的な進路選択を図ることを目指して、3年間の中でさまざまな機会に進路意識を高める取り組みをしている。

平成18年度は10名の同窓生を講師としてお招きし第3回目の「先輩と語ろう会」を実施した。下記のような多士済々の方々に社会での貴重な経験を語っていただき、授業では得られない広い視野を持つ良い機会であった。

記

日　時：　平成19年2月16日（金）

講　座：

（敬称略）

講座	講　師　名	卒業年	プロフィール
①	上　田　安　範	S33	松原産業㈱会長
②	高　島　敏　郎	S55	高島内外国特許事務所
③	辻　岡　俊　三	S34	前今立町長
④	田　中　大　成	S53	田中建設㈱社長
⑤	宮　本　　　俊	S58	㈱ダイエイ社長
⑥	大　蔵　直　樹	S44	㈱損害保険ジャパン
⑦	寺　田　直　樹	H 2	弁護士
⑧	小　垣　正　広	S44	小垣司法書士事務所
⑨	石　本　茂　雄	S44	武生・石本建築事務所
⑩	白　崎　弘　康	S48	㈱ふじや食品社長

＊＊＊＊　アンケートの結果から　＊＊＊＊

- 武生高校の先輩ということでお話を聞けてよかったと思います。このような社会人の方からのお話は進路を決めていく上で必要なことだと思いました。
- 先生からや職業紹介の本を読むよりも、社会で活躍する先輩方の話を聞けたのは素晴らしいことだと思いました。
- 武高を卒業した先輩方が立派に世の中で活躍していると感じ、私もガんバろうと思いました。
- スゴイ先輩のカッコよさを堪能した。
- 自分よりも長い人生を生きてこられた方のお話はやはり深みがありました。
- 「学校で頑張っている人は社会に出ても大丈夫。社会へ出てどれだけ勉強するかが大事だ。」という話にとても感動しました。
- 人脈は、作ろうとしなくても、一生懸命やっていれば勝手にできている、という言葉がよかった。
- 社会に出ている人の話を聞くのは、自身の進路を決める上でとても参考になることだと思います。
- 今回の先輩と語ろう会で、これからの現代社会は世界を相手に仕事をしていかなければいけないことを強く感じた。
- 世界をまたにかけてお仕事をされていて本当にすごいと思いました。私も英語を使って仕事ができたらと思いました。
- 将来世界を相手にして生きるためなら必死に勉強する意味はとてもあると思った。今度のテストを頑張ってみます。
- 先生とかに「この3年間を大切にしろ」とか言われても、そこまで実感が湧かなかったけれど、実際に武高を卒業している人に言われると、すごく重たい言葉に感じた。
- いろいろな人生の送り方があるのだと感心した。社長としての苦しみ・苦労と社長としての醍醐味を聞いて本当に驚いた。
- 人との関わり（絆）が人生において財産だと分かったので大切にしたい。

平成18年度 武生高等学校同窓会計 収支決算書

（平成18年４月１日～平成19年３月31日）

一般会計

【収　　入】　　　　単位：円

項　　目	18年度予算	18年度決算	比較増減	備　　考
繰　越　金	858,169	858,169	0	
入　会　金	1,263,000	1,254,000	△ 9,000	全日368, 分校14, 定時制36(1名3,000円)
雑　収　入	1,000	862	△ 138	利息
		100,000	100,000	池端様２万、実行委員会８万
合　　計	2,122,169	2,213,031	90,862	

【支　　出】

項　　目	18年度予算	18年度決算	比較増減	備　　考
会　議　費	50,000	103,200	△ 53,200	理事会（４月、12月）
旅　　費	300,000	199,180	100,820	旅費、懇親会等（関東、石川）
消 耗 品 費	10,000	285	9,715	文具等
通　信　費	65,000	85,989	△ 20,989	電話料　送料
慶　弔　費	20,000	15,015	4,985	香典
事　務　費	20,000	20,000	0	事務手当
支 部 補 助 費	255,000	235,000	20,000	関東、石川、松柳会、池田、定時
母 校 振 興 費	300,000	100,242	199,758	武生高校紹介用諸費用
積　立　金	600,000	600,000	0	特別会計（定期預金）へ
予　備　費	699,097	50,000	649,097	会館補助
合　　計	2,319,097	1,408,911	910,186	

平成18年度　収入合計	2,213,031 円
平成18年度　支出合計	1,408,911 円
平成19年度への繰越金	804,120 円

同窓会資産

（単位：円）

一　般　会　計	普通預金	804,120
特　別　会　計	定期預金	10,509,570
同窓会会報会計		2,814,403
合　　計		14,128,093

会計収支監査の結果、諸帳簿及び証拠書類等は、適正に処理されていることを認めます

平成19年４月16日

監　事　　川　嶋　和　子

監　事　　鎌　谷　慶　昭

平成18年度 武生高等学校同窓会 会報特別会計収支決算書

（平成18年４月１日～平成19年３月31日）

単位：円

収入の部	金額	備考
前年度繰越金	2,637,546	
平成18年度本校卒業生	552,000	1,500円×374人
新規購読	4,500	1,500円×３人
合計	3,194,046	

支出の部	金額	備考
通信費	0	
会報発行費	379,643	国府印刷 107,835円 サラト 270,893円 福井新聞社 915円
合計	379,643	

収入－支出

3,194,046 － 379,643 ＝ 2,814,403円

（次年度へ繰り越し）

武生高等学校同窓会

平成19年度　事　業　計　画（案）

平成19年

4月16日（月）	会計監査
4月20日（金）	同窓会実行委員会
4月27日（金）	第1回同窓会理事会、懇親会
5月26日（土）	同窓会総会、懇親会
8月1日（水）	第40回松柳会総会
10月24日（水）	開校記念校内マラソン
10月26日（金）	第2回同窓会理事会、懇親会

平成20年

2月15日（金）	「先輩と語ろう会」
3月3日（月）	本校・定時制卒業式、同窓会入会式
3月4日（火）	分校卒業式、同窓会入会式

各　支　部	石川県支部総会	10月上旬
	関西支部総会	10月20日（土）

平成19年度 武生高等学校同窓会計 予算書(案)

（平成19年４月１日～平成20年３月31日）

一般会計

【収　入】　　単位：円

項　目	19 年 度 予 算	備　考
繰越金	804,120	前年度繰越金
入会金	1,257,000	全日374，分校16，定時29　@3,000—
雑収入	1,000	利息
合計	2,062,120	

【支　出】

項　目	19 年 度 予 算	備　考
会議費	100,000	
旅費	150,000	関西　石川
消耗品費	10,000	
通信費	85,000	ホームページプロバイダー契約、電話料、郵送料
慶弔費	20,000	
事務費	20,000	
支部補助費	302,500	関西10 石川3 松柳会10 関東5 池田@500 定時@500
母校振興費	100,000	武生高校紹介用諸費用
積立金	600,000	特別会計（定期預金）へ
予備費	674,620	会館補助等
合計	2,062,120	

※　款項目の流用は理事会にご一任ください。

武生高等学校同窓会会則

第１章　総　　　則

第１条　本会は福井県立武生高等学校同窓会と称する。

第２条　本会の事務局は福井県立武生高等学校内に置く。

第３条　本会は地域あるいは職域ごとに支部を設けることができる。

第２章　目的及び事業

第４条　本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。

第５条　本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

１．会員名簿及び会報の発行
２．母校の教育向上のための協力
３．その他前条の目的を達成するための事業

第３章　会　　　員

第６条　本会の会員は正会員と特別会員の２種からなり、それぞれに該当するものは下記のとおりである。

正 会 員　１．旧武生中学校の卒業生
２．旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の卒業生
３．旧武生高等学校併設中学校の卒業生
４．武生高等学校の卒業生
５．前各項に掲げる学校に在学した者で、本会の承認をえた者

特別会員　１．旧武生中学校の職員
２．旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の職員
３．旧武生高等学校併設中学校の職員
４．武生高等学校の旧職員及び現職員

第４章　役員及び顧問

第７条　本会に次の役員を置く。

１．会　　長　　　１名
２．副 会 長　　　５名
３．常任理事　　若干名
４．理　　事　　若干名
５．会　　計　　　１名
６．監　　事　　　２名
７．顧　　問　　若干名

第８条　役員の選任は次の通り行う。

１．会長、副会長は正会員の中から総会で選出する。
２．常任理事は理事の中から卒業年次を考慮して選び、また分校と定時制の理事を含めて会長が委嘱する。
３．理事は卒業年次ごとに１～２名を会長が委嘱し、また会長が特別に委嘱することもできる。
４．監事は理事の中から会長が委嘱する。
５．顧問は理事会、総会の承認を経て会長が委嘱する。ただし、武生高等学校長及び教頭は顧問に就任する。

第９条　１．会長は本会を代表し、会務を統轄する。
２．副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。また会務（財務、総会、会報、名簿など）に分担して参与する。
３．常任理事は会長、副会長を補佐して、事業の立案や運営にあたる。
４．理事は本会の事業の立案や実行に参与する。
５．監事は会計及び資産状況を監査する。
６．顧問は会長の諮問に応じ、本会の運営に参与する。

第10条　役員の任期は２年とする。ただし、再任を妨げない。

第５章　会　　　議

第11条　本会の会議を分けて、総会、理事会、常任理事会とし、いずれも会長がこれを招集する。

第12条　総会は本会の最高決議機関で毎年１回開催する。ただし会長が必要と認めたときは臨時に開くことができる。司会は出席者の中から選ぶ。

第13条　総会で審議する事項は、次の通りである。

１．会長、副会長の選出
２．常任理事・理事・会計及び監事・顧問の承認
３．決算及び会務・事業報告
４．予算案及び事業計画案
５．その他の必要な事項

第14条　議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。

第15条　理事会は会長が必要と認めたときに開催する。ただし理事総数の３分の１以上の出席者がな

ければ成立しない。理事会の審議事項は、次の通りである。

１．総会に付議すべき事項

２．その他の必要な事項

第６章　会計及び資産

第16条　本会の会計年度は毎年４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

第17条　本会の経費は入会金、寄付金等をもってこれにあてる。ただし会報の発行については、会報購読料を徴収してこれに充てる。

第18条　本会の入会金は3,000円とする。

第19条　本会の基本資産は、総会の承認をえずに消費し、また担保に供してはならない。

第７章　会則の変更

第20条　本会則は理事会の承認を経て、総会の議決をえれば改正することができる。

第８章　補　　　則

第21条　本会則は平成６年４月１日に改正し、即日これを施行する。

平成19年度 武生高等学校同窓会 役員・理事一覧表

		氏　名	卒業年次			氏　名	卒業年次			氏　名	卒業年次
会　長	◎	三田村俊文	31	理　事		桜井　俊之	32	理　事		栗塚　俊夫	46
副会長	◎	三田村久治	24	〃	◎	堀川　利彦	32	〃		藤木　茂之	46
副会長	◎	堀　婦佐子	30	〃		増沢　幸雄	33	〃		吉田　津義	47
副会長	◎	岩堀真理子	35	〃		小川　康子	33	〃	◎	斎藤真理子	48
副会長	◎	河合　敏一	36	〃		斉藤　敏機	37	〃		三村　昌之	48
副会長	◎	五十嵐義和	40	〃	◎	香川　克子	37	〃		川端　幸光	49
会　計	◎	山田　洋三	35	〃		山本　正敏	37	〃		奥山　義治	49
監　事	◎	河嶋　和子	20	〃		手塚　立男	38	〃		田中　康和	50
〃	◎	鎌谷　慶昭	32	〃	◎	高野　治士	39	〃		岡田　武廣	50
理　事		斎藤　君枝	16	〃		橋本　和雄	40定	〃		加藤　団秀	51
〃		大柳　栄次	20	〃		上野谷憲示	40	〃		河嶋　衛	51
〃		吉田　陽子	22	〃		千田　國雄	41	〃		松浦　宏由	51
〃		安本　俊子	22	〃		宮崎　昌代	41	〃		飯田　賢幸	52
〃		池端みつ子	23	〃		玉村　一男	42	〃	◎	田中　大成	53
〃		西野　剛	26	〃		大平　昌宏	42	〃		長谷川和弘	53
〃	◎	成田　幸恵	27	〃		松井　透	43	〃		上野　浩一	54
〃		岸本　輝夫	28分	〃		満月　広昭	43	〃		野田　義弘	54
〃		月岡　照晴	29	〃		杉本はじめ	44	〃		平山　勝康	55
〃		川口　忠治	29分	〃		井上　和治	44	〃		三田村裕和	55
〃		大川清次郎	29定	〃	◎	笠原　章	45				
〃	◎	吉田　勉	31	〃		上木　義晴	45				

◎ は常任理事

各支部　　顧　問　　事務局

		氏　名	卒業年次		氏　名	卒業年次		氏　名	卒業年次
関東支部長	◎	細井　恭一	27	学　校　長	覚田　義彦		書記会計	堀　直樹	46
関西支部	◎	武田　道雄	30	教頭(全日制)	八田　幸明		書　記	橋本　貴芳	57
石川県支部	◎	江端　義幸	44	教頭(分　校)	長谷川美津代		調　査	高原　一也	58
中京支部長	◎	須川　園子	36	教頭(定時制)	荒川　義弘		調　査	飯田　善一	H 1

◎ は常任理事

校内理事

分　担	氏　名	卒業年次	分　担	氏　名	卒業年次	分　担	氏　名	卒業年次
調　査	関　正明	41	調　査	水嶋　勝彦	56	調　査	前田　周子	60
〃	小谷　久能	43	〃	山本　真司	56	〃	虎間　佳子	61
〃	庄司　富子	44	〃	飯田　俊幸	57	〃	内河千佳代	62
〃	友永幸四郎	48	〃	斎藤　正純	57	〃	篠山　幹治	62
〃	盛高　宏嗣	52	〃	野坂　陽一	58	〃	島田　由香	H 3
〃	森長　淑子	52	〃	酒井　龍弥	59	〃	高芝　和紀	H 7
〃	佐野　幸一	53	〃	松浦　正樹	59	〃	青山　真弓	H11
〃	中山　孝士	54	〃	嶺山　秀法	60			

役員の改選は平成18年５月27日(土)②開催された総会に於いて承認されました。

平成19年度　# 武生高等学校同窓会総会実行委員会（昭和45年卒業）

委　員　長	笠原　　章（１組）	副委員長	上木　義晴（３組）　大久保恵子（６組）
総　　　務	山本有一郎（１組）	企　　　画	上嶋　善一（４組）
パーティー	前田賢治郎（８組）	会　　　計	高井　秀樹（８組）　白木美知子（８組）
事　務　局	安立　　勝（６組）　坂下　在良（３組）		土井　友子(11組)　山本　洋子(11組)

実行委員				
１組	○山岸　正信	蔭山　雅一	福岡　祐一	山口　重一
２組	○内山　利信	奥村　省造	斎藤　龍一	橋尾次郎右ヱ門（谷川）
	京藤　敏実（谷口）	浜崎　宗樹	福島　治和	山崎　親弘
３組	○金剛丸　仁	片桐　昭彦	桂　　信隆	駒野　正和
	高原　正典	山口　重幸	山本　範雄	
４組	○宮川　　斉	内山　一義	北畑喜代和	久嶋　敏夫
	山崎　俊枝（加藤）	安久　絹子（田中）	浅野　裕子（野形）	豊田　えり（前田）
	川上　恵子（宮脇）			
５組	○三好　貞之（斉藤）	菱川　　守	増永　　裕	若吉　修似
	上木実千枝	杉谷　佳子	増永　恵子（田中）	若泉友貢子（高山由美子）
６組	○友永　純一	小林　幸子（笠原）	丹尾八千代（斉藤）	斎藤由美子（高木）
	石井　雄二			
７組	○國定　博司	春田　憲一	藤原　綱蔵	冨坂　政一（山野）
	中川千恵子（倉橋）	小松　結子		
８組	○前田賢治郎	大塚　潤三	大森　喜一	加藤政十司
	山内　政和	春日埜悦子（岡田）	高原美樹子	佐々木輝美（中村）
	田川　幸代（宮崎）	清水美和子（八田）		
９組	○谷川　宣子（小林）	坂本　友子（渥美）	窪田　春美（岩端）	西野　治代（加藤）
10組	○熊谷三千代（西野）	浅野　洋子	関　　和子（橋本）	上野　弘美（松倉）
11組	○向島　　衛	小柳　博俊	西藤　浩一	福田　　一
	福田　英一	藤木　好美（岡本）	加光けい子	

協賛会社名・氏名一覧

（50音順）

企業名・氏名	住　　所	電　話
(医) 相 木 病 院	越前市中央２丁目９－40	0778-22-1607
㈱ アイジーエー	越前市矢放町13－８－９	0778-23-3200
安 立 勝（S45年卒）	越前市	
五 十 嵐 ㈱	越前市府中１丁目12－18	0778-22-0002
(医) 池 端 病 院	越前市今宿町14－14	0778-23-0150
㈲ 石井雄二郎商店	越前市幸町４－１	0778-23-3400
井上リボン工業 ㈱	越前市岩本町９－４	0778-43-0810
岩 堀 病 院	越前市神明町４－12	0778-22-0385
㈱ ウエキグミ	越前市府中３丁目９－１	0778-24-3300
上 野 ガ ス ㈱	越前市若竹町３－28	0778-24-1555
料亭うおとめ	越前市吾妻町１－45	0778-22-0151
エネックス ㈱	福井市花堂中２丁目15－１	0776-36-5821
王子保郵便局	越前市今宿町３－13－５	0778-23-4354
㈱ オーケン	越前市四郎丸町53－５－１	0778-23-6700
㈱ オーシン M.L.P	越前市矢放町14－23	0778-23-0300
㈲ 大山調剤薬局	越前市東千福町23－18	0778-21-5858
御 清 水 庵	越前市吾妻町３－33	0778-21-5088
㈱ 小 野 谷 屋	越前市家久町30－11	0778-24-1048
香 川 克 子	越前市	
賀 川 薬 局	越前市神明町２－26	0778-22-0356
税理士法人 片岡会計	越前市堀川町４－10	0778-23-4500
片桐歯科医院	鯖江市有定町１－２－28	0778-54-0640
「梵」㈾ 加藤吉平商店	鯖江市吉江町１－11	0778-51-1507
㈱ カネイチ	鯖江市北野町12－13	0778-51-8855
㈱ 鎌 仁 商 店	越前市小野谷問屋団地	0778-24-3333
鎌 仁 別 荘	越前市天王町３－４	0778-22-0069
㈱ カマヤ食品	越前市深草２丁目３－３	0778-22-0544
嘉 門 善 二	鯖江市	
㈱ カ ラ ヤ	越前市中央２丁目６－５	0778-22-2100

企業名・氏名	住　　　　所	電　　話
カ　ワ　イ　㈱	越前市上太田町29－15－１	0778-22-0255
㈱河嶋連蔵商店	越前市本多１－２－５	0778-24-3453
神　崎　屋	越前市京町１丁目４－34	0778-22-3344
木原建設㈱	越前市大虫町７－２	0778-24-2200
木　屋　茂　㈱	越前市京町１丁目２－12	0778-22-0516
キョーセー㈱	越前市妙法寺町29－２	0778-23-1234
クラシス㈱	越前市日野美２－18	0778-22-2260
倉橋会計事務所	越前市村国２丁目６－19	0778-24-3496
倉茂電工㈱	越前市下平吹町10－９	0778-22-1500
黒田社会保険労務士事務所	越前市新在家３－３	0778-42-1605
慶秀測量㈱	敦賀市昭和町２丁目17－15	0770-24-2250
小垣司法書士事務所	越前市府中１丁目10－８	0778-23-5411
㈱国府印刷社	越前市北府２－11－16	0778-22-3706
小林歯科医院	福井市豊島２－７－９	0776-23-6233
㈱サイエンスクラフト	越前市蓬莱町５－１	0778-21-1189
(医) 斎藤医院	越前市北府３丁目５－１	0778-22-0234
サイトーバンキン㈱	鯖江市柳町４－２－25	0778-52-6051
酒井編織㈱	鯖江市桜町２－１－５	0778-51-4640
坂下歯科医院	越前市村国２－11－31	0778-22-0608
㈱三和エンジニアリング	越前市横市町36－21－１	0778-24-4788
㈱　シ　マ　ヤ	越前市矢船町５－３－３	0778-22-1680
下野節税理士事務所	鯖江市東鯖江４－８－６	0778-54-0300
ジャスパック㈱	越前市稲寄町７－18－１	0778-23-0101
シャルマングループ	鯖江市川去町６－１	0778-52-4141
ジュエリー&ウォッチ正午堂	越前市横市町28－14－１　武生楽市１F	0778-21-1200
正通瑞香堂薬局	越前市南３丁目５－４	0778-24-0826
㈱　シ　ン　カ　イ	福井市丸山２丁目1405	0776-52-5540
スリフターズ福井やしろ店	福井市渕町２丁目807	0776-43-3570
清　海　館	南越前町糠12－31	0778-48-2026
関（橋本）和子（S45年卒）	越前市	
㈱　関　組	越前市粟田部６－26	0778-43-1133

企業名・氏名	住　所	電　話
ソニアシステム㈱	鯖江市新横江２－３－４	0778-51-8935
ダイエイ㈱	越前市白崎町73－１－３	0778-24-4624
㈲大信	越前市矢放町13－８－２	0778-24-3275
大和建設㈱	越前市村国２丁目13－12	0778-22-0168
MENS＆LADYSタカヤ	南越前町今庄75－34	0778-45-0010
（医）武生記念病院	越前市小松２丁目７－25	0778-22-2887
武生青果㈱	越前市矢船町17－15	0778-24-2211
武生製麺㈱	越前市真柄町７－37	0778-22-0272
㈱武生総合食品市場	越前市矢船町17－８	0778-24-3111
㈱タケベ無線	鯖江市本町３－１－15	0778-51-2233
田中建設㈱	越前市本保町21－10	0778-22-5255
タニオ保険㈱	福井市花堂中１丁目１－11	0120-84-5590
（医）谷川病院	鯖江市本町４丁目３－14	0778-51-4132
谷口建設㈱	越前市押田２－10－27	0778-22-0782
㈱タマヤ	越前市高瀬１－８－29	0778-22-0581
土田登記・測量合同事務所	越前市新町８－１－12	0778-22-3066
土の駅今庄	南越前町湯尾96－19	0778-45-1272
帝国コンサルタント㈱	越前市国高１丁目６－１	0778-24-0001
㈱寺嶋商店	越前市小野谷町４－３－５	0778-24-0532
(医)東武内科外科クリニック	越前市横市町６－３	0778-21-1155
福井県議会議員　仲倉典克	南越前町牧谷43－１－22	0778-47-2253
（医）中村病院	越前市天王町４－38	0778-22-0618
西野会計税理事務所	越前市平出２丁目２－５	0778-23-3500
日本プロファイル工業㈱	越前市新在家13－１	0778-43-1100
インテリア野田屋	越前市桂町６－21	0778-22-1344
ハッポー化学工業㈱	越前市大虫町３－１	0778-22-5800
（医）林病院	越前市府中１丁目５－７	0778-22-0336
東山禎夫（S45年卒）	山形県米沢市	
平崎特許事務所	福井市大手３丁目４－１	0776-22-7450
平山司法書士事務所	越前市蓬莱町８－24	0778-22-0867
福井日産自動車㈱	福井市下荒井町21－３	0776-38-1700

企業名・氏名	住　　　　　所	電　　話
㈱　福　井　新　聞　社	福井市大和田町56	0776-57-5111
㈱　福　邦　銀　行	福井市順化１丁目６－９	0776-21-2500
(医)ふじもとこどもクリニック	福井市渕町２－903	0776-33-5533
㈱　藤　谷　商　店	越前市小野谷町４－３－４（問屋団地）	0778-24-0805
㈱　ふ　じ　や　食　品	越前市矢船町１－７－１	0778-23-0524
藤　原　窯　業	越前町下河原37－13	0778-36-0027
府　中　美　術　印　刷　㈱	越前市深草２－４－32	0778-22-0910
ふ　る　ー　れ　・　T	越前市南１－１－17	0778-21-0005
㈲　ベ　ル　ベ　ー　ル	鯖江市小黒町１－５－３	0778-52-3888
北陸旅行㈱越前武生営業所	越前市幸町１－16	0778-22-1200
北陸東エシヤッター㈱	福井市四ッ井１丁目14－５	0776-54-4455
松　井　　透（S43年卒）	越前市	
マ　ツ　ウ　ラ　㈱	越前市平出２－28－10	0778-24-3550
マルカ整形外科内科病院	越前市吾妻町２－８	0778-22-1317
㈱　マ　ル　ト　ミ	越前市家久町57－17	0778-22-3520
㈱　み　か　さ	越前市吾妻町３－26	0778-22-5320
㈱　三　田　村　工　務　店	越前市神明町４－８	0778-22-0560
三田村　久　吉（S45年卒）	茨城県那珂郡東海村	
三　室　政　憲（S41年卒）	越前市	
㈱　宗　近	越前市北町45－63－１	0778-22-0759
山　金　工　業　㈱	福井市左内町４－15	0776-36-2288
山岸建築設計事務所	鯖江市小黒町１－５	0778-52-8370
山田（杉谷）佐代子（S45年卒）	福井市	
山　本　歯　科　医　院	越前市元町１－12	0778-24-0558
㈲　ユーアイシステム	鯖江市横江２－４－15	0778-53-0266
吉　田　皮　膚　科　医　院	越前市姫川町４－10	0778-24-5532
㈱　ライトスタッフ	福井市春山１丁目1-14 福井新聞桜通りビル3F	0776-22-7201
若　泉　歯　科　医　院	越前市文京２丁目12－６	0778-24-3021
若　吉　修　似（S45年卒）	鯖江市	
武生パレスホテル	JR武生駅すぐ前 www.palace-hotel.co.jp	0778-23-8100

ス　テ　ー　ジ

水割コーナー

旧制中学校	役　員	恩　師	旧制女学校
雅	松	竹	誠
24年〜29年	24年〜29年	30年〜34年	30年〜34年
義	栄	桧	榊
40年〜44年	35年〜39年	35年〜39年	35年〜39年
光	清	萩	寿
40年〜44年	40年〜44年	47年〜49年	47年〜49年
慶	祥	幸	菫
50年〜54年	50年〜54年	47年〜49年	46年
福	祝	賀	和
55年	55年	55年	46年
錦	華	富	橘
45年	45年	45年	45年
桂	綾	孝	貴
45年	45年	45年	45年
希	葵	藤	桃

水割コーナー

座席表

1．数字は卒業年を表します。
2．一応の目安で決めてありますので適当に譲りあって下さい。
3．一卓10人として考えてあります。

武生高等学校同窓会

URL　http://www.buko-dosokai.com

E-mail
事 務 局　jimukyoku@buko-dosokai.com
関西支部　kansai@buko-dosokai.com
関東支部　kanto@buko-dosokai.com
中京支部　chukyo@buko-dosokai.com
石川支部　ishikawa@buko-dosokai.com

平成19年度
武生高等学校同窓会総会
平成19年５月26日

発行責任者　笠　原　　章
編集責任者　総会実行委員会事務局
印　　刷　㈱国府印刷社

平成19年度
福井県立武生高等学校
同窓会総会実行委員会